

ジェイアールバス東北本部

第26号 2020年3月30日

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-4-3 JR東労組仙台地方本部内

NTT:022-297-0155 JR:031-3981~3983

発責：佐藤 秀一

編集：情宣部

申
6
号

2020年度賃金引上げ等に関する申し入れ

20春闘妥結!

定期昇給の実施を確認!

しかし! ベースアップはゼロ回答!

本日30日、申6号「2020年度賃金引上げ等に関する申し入れ」について席上妥結しました。バス東北会社は、第2四半期決算において、主力の乗合収入・貸切収入の減収や、人件費・減価償却費の増加等に伴い、営業収益は当初の計画を大きく下回る結果となり、第3四半期決算では昨年の10月に発生した台風19号被害による八戸線等の列車代行輸送、JR西日本バスへの出向などにより黒字を計上したものの、新型コロナウイルスの影響により3月単月で仙台～新宿便が7割から8割減となるなど、依然として厳しい経営状況であると主張し、この間の社員の努力は認めつつも厳しい姿勢に終始しました。

各分会をはじめ、多くのJR東労組の仲間からの檄を受けながら粘り強く交渉を重ねる中で、第3四半期決算で黒字を計上したのは社員の努力であり、会社経営が厳しい時こそ労使で協力していくべきであること、新型コロナウイルスの影響は大きいですが、あくまで短期的なものでベアは中長期的に判断するものであり、3年連続ベアゼロでは、物価上昇、消費税増税により生活が苦しくなる一方であることを強く訴えるとともに、55歳以降の定期昇給の実施と北東北と南東北の契約社員の格差是正を求めてきましたが、現状を突破することが出来ませんでした。苦渋の判断ではありましたが、組織現実を踏まえた上でこれ以上交渉を延ばすことは過去の交渉を見ても非常に厳しくなることから定期昇給の実施を確認し妥結しました。

厳しい組織現状ではありますが、今回の悔しさを組織強化・拡大へと繋げ、これからも職場環境改善と労働条件向上に向け奮闘していきます。

**20春闘で培った団結力を更に強化し
新生JR東労組運動を推し進めよう!**